

3	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854027	非対称細胞分裂:細胞の非対称性から多様性を形成する機構の解析	松崎 文雄 (理化学研究所・非対称細胞分裂研究グループ・グループディレクター)	A
(意見等) ショウジョウバエの X 染色体、第 2 染色体について大規模スクリーニングを行い、新規の変異体を見出してその原因遺伝子を同定したこと、3 量体 G 蛋白質が非対称細胞分裂に関与することを示した点など、当初の研究目的を概ね達成したものとして評価する。とくに、3 量体 G 蛋白質のミュータントを利用することによって細胞極性を制御する主要なシグナル系の役割を明らかにした点は高く評価できる。しかしながら、申請者が当初設定した研究課題の目標値の高さや、本研究グループがおかれた研究環境を考えると、研究成果の量的な部分、“厚み”に関して、更なる成果を狙ってほしかった。				
4	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854004	植物ウイルスのゲノム複製装置の分子解剖と無細胞ウイルス複製系の開発に関する研究	日比 忠明 (玉川大学・学術研究所・教授)	A
(意見等) 植物ウイルスのゲノム複製機構を解明することを目的とし最終的には完全な無細胞ウイルス複製系の樹立を目指した本研究は、タバコモザイクウイルス、ダイズ退緑斑紋ウイルス、アップルステムグルーピングウイルス、ジャガイモ X ウイルス及びムギ類萎縮ウイルスを研究材料として広範に行われた。その結果、タバコモザイクウイルス RNA 複製酵素と結合する 5 種のタンパク質成分の単離・同定をはじめ、それぞれの系について多くの新しい知見を得たことは高く評価できる。ただ、対象が多岐に亘るため、一部のウイルス系については目標どおりの成果を得るに至っていない点はある。しかし、この分野での研究の進展に大きく寄与する成果は十分に得られている。				